

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
市町村合併10年を振り返る	P3
特集 ケーブルテレビコミュニティデータ放送	P4-7
パード・ハット8万3千人達成、ふるさと納税1億円突破	P8-9
職員の給与をお知らせします、空き家の適正管理を!	P10-11
平成26年の主な催し、シリーズ@じんけん	P12-13
ｼｰｽﾞ元気です 亀井踊保存会	P14-15
まちかどアルバム	P16-17
健康・病院	P18-19
ピックアップインフォメーション	P20-21
年始・祝日のごみ収集(鳥取地域)	P20
介護保険に関する税金の控除についてお知らせします	P21
など	
情報ひろば	P22-28
福祉(高齢社会課からのお知らせ、保育料の寡婦控除みなし適用について など)	P22
お知らせ(小規模修繕等契約希望者登録の受付、地産地消フェア など)	P22-
募集(鳥取市行政改革推進市民委員会委員、冬季生涯学習講座 など)	P23-
シリーズ 鳥取市の誘致企業を紹介します!!	P25
傾聴力養成講座、人権と福祉のまちづくり講座	P26
趣味の教室参加者募集	P27
食「ひらひら大根とれんこん入り肉団子の煮物」	P28
市民伝言板	P28
など	
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
2月のカレンダー、読者プレゼント、つぶやき	P32

今月の表紙

2043人が新成人の仲間入り!



平成26年の成人式が、1月3日(金)とりぎん文化会館で行われました。当日は1月とは思えないほどの好天に恵まれ、約1750人の新成人が参加しました。

会場内外では、旧友との再会に喜び、談笑したり写真撮影したりする新成人の姿が数多く見られました。

式典では、新成人を代表して、保本本純也実行委員長があいさつを行い、「今の自分があるのは、父・母を始め、家庭・友達・学校の先生・地域の方々など、さまざまな支えと励まし、つまり輪があったからこそ。輪を大切に、成人になったことを自覚して、それぞれの目標に向かって努力を惜しまず進んでいきましょう」と決意を述べました。

式典後のアトラクションでは、新成人で構成する実行委員が企画した「抽選会」が行われました。「交通安全気をつけま賞」、「親に感謝しま賞」などの賞があり、抽選番号が発表されるたびに、会場から歓声が上がっていました。



祝2014鳥取市成人式

1人目 729番
2人目 234番

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1042

鳥取市の人口

男 : 93,453人 [-29]
 女 : 100,441人 [-22]
 合計 : 193,894人 [-51]
 世帯数 : 77,816 [+9]
 平成26年1月1日現在 [] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)
 FAX 0857-20-3040
 〒680-8571
 (郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)
 本庁舎 尚徳町116番地
 第二庁舎 上魚町39番地
 駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

http://www.city.tottori.lg.jp/
 音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)
 http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555
 福部 TEL 0857-75-2811
 河原 TEL 0858-76-3111
 用瀬 TEL 0858-87-2111
 佐治 TEL 0858-88-0211
 気高 TEL 0857-82-0011
 鹿野 TEL 0857-84-2011
 青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室
 TEL 0857-20-3132
 発行/平成26年2月1日
 印刷/日ノ丸印刷株式会社

市町村合併10年を振り返る②

市民の期待にこたえる 簡素で効率的な都市経営

問 本庁舎行財政改革課 TEL 0857-20-3111

健全財政の取り組み

本市は、平成16年の市町村合併後、新市の均衡ある発展を理念に掲げ、CA TV網の整備などを積極的に進めました。

その後、財政健全化の取り組みを推進し、着実に安定した財政基盤の確立に努めてきました。主な取り組みは、歳入の確保として、ふるさと納税の推進(平成25年度決算見込1億3600万円)、庁舎玄関マット、市ホームページなどへの有料広告の掲載、市の体育施設などの命名権の売却、太陽光発電による売電、砂の美術館の入館料収入(年間約2億円)などです。また、歳出の一層の適正化として、OA機器や公用車、電力など契約方法の見直しによる経費節減、ジェネリック医薬品の利用推進などを行ってきました。

これにより、平成24年度決算額で市の借金にあたる一般会計の市債残高は、平成17年度に比べて約233億6千万円を縮減、市の貯金にあたる基金残高は、約123億円に積み増しすることができました。

また、平成24年度一般会計歳出決算額は、約92.6億円です。

効率的な執行体制

5年ごとに行財政改革大綱を策定し、計画的に事務の効率化を進めてきました。主な取り組みとしては、体育館、公園などの市有施設の管理を民間に任せる指定管理者制度の導入、市税、国保料の徴収体制の一元化、個人市民税や固定資産税などのコンビニ収納の実施、CA TV網を活用したコミュニティデータ放送、施設予約システムな

ど電子自治体の推進などです。さらに、市町村合併時の職員数1572人を平成25年度は1324人と248人削減しました。多様な市民ニーズや行政課題に対応できる効率的な執行体制の構築を進めています。

将来を見据えた都市経営

平成20年に制定した鳥取市自治基本条例では、「市民と市が自治の主体であり、両者のたゆみない努力により自治を維持すること」を基本理念としています。今後も安定した市民サービスを継続していくには、身の丈に合った財政運営が求められます。庁舎整備、経済雇用対策、少子高齢化対策、教育環境など、多くの市政の課題を市民のみならずとも解決しながら、将来を見据えた都市経営を行っていきます。



帰省客へふるさと納税をPR



施設命名権の販売(調印式)



来場者55万人達成(砂の美術館)



徴収体制の一元化(徴収課)



職員研修



市民まちづくりワークショップ



市民と市協働のボランティア活動



市庁舎整備に関する説明・意見交換会